



矢野 邦夫 先生
浜松市感染症対策調整監
浜松医療センター感染症管理特別顧問

'81年名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、'89年フレッドハッチンソン癌研究所、'93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。'96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床・エイズトレーニングセンター臨床研修修了。'97年 感染症内科長／衛生管理室長、'08年 副院長、'20年 院長補佐、'21年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

株式会社メディコン

COVID-19ワクチンの 特殊な接種対象者について

CDCがCOVID-19ワクチンの使用に関する暫定的な臨床的考察を記述している(1)。その中から特殊な接種対象者について紹介する。

◆過去または現在のSARS-CoV-2感染者

- 症候性または無症候性のSARS-CoV-2感染の病歴に関係なく、それらの人々にはワクチンを接種すべきである。これには、COVID-19後の症状が長引く人々も含まれる。臨床試験のデータは、現在認可されているCOVID-19ワクチンが、SARS-CoV-2感染の既往のエビデンスがある人々に安全に接種できることを示している。
- 急性SARS-CoV-2感染を評価するためのウイルス検査、または過去の感染を評価するための血清学的検査は、ワクチン接種の意思決定の目的には推奨されない。
- 現在SARS-CoV-2に感染している人へのワクチン接種は、急性期から回復し（症状があった場合）、隔離を終了する基準を満たすまで延期する。
- これらの推奨事項は、ワクチンの接種を受ける前にSARS-CoV-2感染を経験した人、およびmRNAワクチンの初回接種後で2回目を接種する前にSARS-CoV-2感染した人にも適用される。
- SARS-CoV-2感染とワクチン接種の間に推奨される最小間隔はないが、現在のエビデンスは、SARS-CoV-2再感染のリスクは感染後の最初の数か月は低いけれども、免疫力の低下により時間とともに増加する可能性があることを示唆している。

◆小児多系統炎症性症候群 (MIS-C: multisystem inflammatory syndrome in children) または成人多系統炎症性症候群 (MIS-A) の病歴のある人

- 現在、小児 (MIS-C) または成人 (MIS-A) の多系統炎症性症候群の病歴のある人々におけるCOVID-19ワクチンの安全性と有効性に関するデータはない。

- MIS-CおよびMIS-Aのメカニズムはよく理解されていないが、SARS-CoV-2感染に対する免疫応答の調節不全があるのかもしれない。MIS-CまたはMIS-Aの病歴のある人が、SARS-CoV-2の再感染後、またはワクチン接種に反応して、同じ調節不全の免疫応答を再発するリスクがあるかどうかは不明である。
- MIS-Cの小児はSARS-CoV-2に対する抗体価が高い。しかし、これが再感染に対する防御と相関するかどうか、および防御抗体レベルがどのくらい持続するかは不明である。
- SARS-CoV-2再感染のリスクは、最初の感染後の数か月間は低いが、免疫力の低下により時間とともに増加する可能性がある。それ故、MIS-CまたはMIS-Aの病歴のある人は、再感染のリスク、および、ワクチン接種の恩恵が最初の感染後の時間とともに増加する可能性があることを認識して、MIS-CまたはMIS-Aが治癒し、MIS-CまたはMIS-Aの診断後、90日間は接種を遅らせることを考慮する。
- MIS-CまたはMIS-Aの病歴のある人はワクチンを接種することを選択できる。ワクチン接種に関する考慮事項には、次のものが含まれる。

- ・ MIS-CまたはMIS-Aから臨床的に回復したか？（正常な心機能への回復を含む）
- ・ COVID-19の重症化リスク（例：年齢、基礎疾患）はあるか？
- ・ COVID-19の市中感染のレベルと再感染の個人的リスクはどうか？
- ・ MIS-CまたはMIS-Aに続くCOVID-19ワクチンの安全性データが欠如していることを知っているか？
- ・ 免疫調節療法のタイミングはどうか？

◆ COVID-19に曝露した人またはCOVID-19アウトブレイク中の人々

- COVID-19ワクチンは、曝露歴のある人でのSARS-CoV-2感染を防ぐため、アウトブレイク管理や曝露後予防のためには現在推奨されていない。COVID-19の潜伏期間の中央値は4～5日であるため、COVID-19ワクチンの接種が、潜伏期間内に効果的な曝露後予防のための免疫応答を提供する可能性は低い。
- COVID-19に曝露した地域社会や外来の人々は、ワクチン接種のための受診時に医療従事者や他の人に曝露する可能性を避けるために、検疫隔離が終了するまではワクチン接種を求めない。この推奨事項は、2回目のmRNAワクチン接種を受ける前にCOVID-19に曝露した人にも適用される。
- 集合医療施設（例：長期介護施設）または集合非医療施設（例：矯正および拘置施設、ホームレスシェルター）でのCOVID-19曝露歴のある居住者または患者はワクチン接種を受けることができる。これらの状況では、SARS-CoV-2への曝露と感染が長期間繰り返し発生する可能性があり、医療従事者や他のスタッフはすでに住民と濃厚接触している。
- COVID-19様症状がない場合、曝露を受けてSARS-CoV-2検査結果を待っている集合環境（ヘルスケアおよび非ヘルスケア）に住む人々はワクチン接種を受けることができる。

[文献]

- (1) CDC. Interim clinical considerations for use of COVID-19 vaccines currently authorized in the United States
<https://www.cdc.gov/vaccines/covid-19/clinical-considerations/covid-19-vaccines-us.html>

こちらも公開しています。

メディコン CDCガイドライン 

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

